



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 生坂 敏行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1482  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,464	△10.7	1,507	△14.0	1,481	△13.3	773	8.3
28年3月期第3四半期	13,960	△8.5	1,753	△10.6	1,707	△12.5	713	△33.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,031百万円(△7.1%) 28年3月期第3四半期 1,110百万円(△23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	67.37	—
28年3月期第3四半期	62.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,952	17,011	58.2
28年3月期	25,848	16,440	56.5

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 15,097百万円 28年3月期 14,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
29年3月期	—	10.00	—		
29年3月期(予想)				16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	△2.3	1,650	△17.1	1,550	△18.9	700	△6.8	60.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類4ページ(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	11,500,000株	28年3月期	11,500,000株
29年3月期3Q	23,067株	28年3月期	23,067株
29年3月期3Q	11,476,933株	28年3月期3Q	11,477,004株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が見られているものの、英国のEU離脱問題や米国の金融政策の動向などの日本経済への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車用特殊ビスフェノールは好調に推移しておりますが、クレゾール誘導品は市況安や円高の影響を受け、また、自動車用以外の特殊ビスフェノールについては在庫調整局面が継続し、厳しい事業環境が続いております。

その結果、売上高は12,464百万円（前年同四半期比10.7%減）、営業利益は1,507百万円（同14.0%減）、経常利益は1,481百万円（同13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は773百万円（同8.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <化学品>

##### ・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や農薬、電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第3四半期においては、販売数量は増加しているものの、競合激化による市況の下落及び円高の影響等から販売価格が低迷したため、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

##### ・ビスフェノール

ビスフェノールは、パソコン、スマートフォン、デジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる耐熱性・精密成型性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料や医療分野等で使用されるポリフェニルスルホン（PPSU）の原料として使用されております。

当第3四半期においては、情報通信機器市場の低迷によるLCP向けの販売減に加え、PPSU向けについても需要は堅調であるものの、円高による販売価格の低迷や顧客での生産タイミングのズレ等により、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は5,277百万円（前年同四半期比11.4%減）、総売上高に占める割合は42.4%となり、セグメント利益は、固定費の減少等の影響により447百万円（同65.1%増）となりました。

#### <機能材料>

##### ・電子材料

当社の電子材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）等の製造過程で使用されております。

当第3四半期においては、半導体市場では中国スマホメーカー向けの需要が堅調であるものの、LCD市場では依然として在庫調整が継続しており、売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

##### ・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂（自動車用部品、光学・電子部品用途向け）や特殊エポキシ樹脂（エポキシ封止材・積層板用途向け）の原料として使用されております。

当第3四半期においては、成形材・光学用途の一部で需要減速や新規案件の立ち上げ遅れが発生したため、売上高は前年同四半期を大きく下回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、2,631百万円（前年同四半期比14.2%減）、総売上高に占める割合は21.1%となり、セグメント利益は222百万円（同56.1%減）となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しており、引き続き需要は好調に推移しておりますが、為替換算等の影響により、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受注数量が減少したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、工業材料部門の売上高は、4,304百万円（前年同四半期比6.7%減）、総売上高に占める割合は34.5%となり、セグメント利益は1,450百万円（同1.5%減）となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は251百万円（前年同四半期比22.3%減）、総売上高に占める割合は2.0%となり、セグメント損失は68百万円（同27.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、現金及び預金の増加（757百万円）、売掛金の減少（113百万円）、商品及び製品の増加（439百万円）等により、対前年度末比704百万円増加し、15,440百万円となりました。

固定資産は、対前年度末比600百万円減少し、10,512百万円となりました。

この結果、資産合計は、対前年度末比104百万円増加し、25,952百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（528百万円）、長期借入金の減少（786百万円）等により、対前年度末比466百万円減少し、8,941百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（474百万円）、非支配株主持分の増加（77百万円）等により、対前年度末比571百万円増加し、17,011百万円となりました。

この結果、自己資本比率は58.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月8日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,441	6,199
売掛金	4,192	4,078
商品及び製品	3,445	3,884
仕掛品	388	195
原材料及び貯蔵品	861	719
その他	406	362
流動資産合計	14,735	15,440
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,660	6,943
その他(純額)	2,590	2,705
有形固定資産合計	10,251	9,648
無形固定資産	60	53
投資その他の資産	800	810
固定資産合計	11,112	10,512
資産合計	25,848	25,952
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,510	2,039
短期借入金	2,022	1,981
未払法人税等	419	220
役員賞与引当金	19	14
その他	1,215	1,312
流動負債合計	5,186	5,568
固定負債		
長期借入金	1,277	490
役員退職慰労引当金	105	50
退職給付に係る負債	1,829	1,867
その他	1,009	964
固定負債合計	4,221	3,372
負債合計	9,407	8,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	12,204	12,678
自己株式	△14	△14
株主資本合計	14,703	15,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	70
為替換算調整勘定	49	△41
退職給付に係る調整累計額	△169	△108
その他の包括利益累計額合計	△99	△80
非支配株主持分	1,836	1,914
純資産合計	16,440	17,011
負債純資産合計	25,848	25,952



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	13,960	12,464
売上原価	10,818	9,570
売上総利益	3,141	2,894
販売費及び一般管理費	1,388	1,386
営業利益	1,753	1,507
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	3
受取補償金	—	24
その他	24	5
営業外収益合計	27	33
営業外費用		
支払利息	48	37
固定資産除却損	12	15
その他	13	7
営業外費用合計	73	60
経常利益	1,707	1,481
税金等調整前四半期純利益	1,707	1,481
法人税等	621	391
四半期純利益	1,086	1,089
非支配株主に帰属する四半期純利益	372	316
親会社株主に帰属する四半期純利益	713	773

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,086	1,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	49
為替換算調整勘定	48	△167
退職給付に係る調整額	△26	60
その他の包括利益合計	24	△57
四半期包括利益	1,110	1,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	716	792
非支配株主に係る四半期包括利益	393	239

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,956	3,066	4,614	13,636	324	13,960	—	13,960
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,956	3,066	4,614	13,636	324	13,960	—	13,960
セグメント利益又は セグメント損失(△)	271	506	1,471	2,249	△95	2,154	△400	1,753

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△400百万円には、各報告セグメントに配分していない  
  全社費用△400百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,277	2,631	4,304	12,212	251	12,464	—	12,464
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,277	2,631	4,304	12,212	251	12,464	—	12,464
セグメント利益又は セグメント損失(△)	447	222	1,450	2,120	△68	2,051	△543	1,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△543百万円には、各報告セグメントに配分していない  
  全社費用△543百万円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。